奥畑でトマト栽培ハウスを経営

戸田　瞬介さん（28歳）

今年ご結婚予定の戸田さん

就農へのきっかけは

25歳までは、父がいろいろなことを経験したほうがいいと、好きなことをさせてくれました。

長男なので、ここへ戻ってきて農業をやろうと思っていたので、帰ってから大田市の県立農林大学校に入学し、農業を学びました。

子供のころから、父の仕事を見て来たので、「継がないかんなー」と思っていました。それに、農業は儲けようと思えば儲かることを見て分かっていました。

今の農産物は価格がだいたい決まっている分大儲けがなくて、規模や収量が重要になっています。良い価格で売りたければ、有機などの付加価値がないと無理です。僕はエコ認定を受けていますが、今はそれが普通といった感じです。

今後の計画は

施設は面積がなければ必要な収入が得られないので、これからも棟数を増やして50ａ位にしたい（現在は15ａ）と思います。そうすれば雇用も必要になり、地域に貢献できるんじゃないかと。そういう意味では農業って夢がありますよね。

売り上げ目標は、とりあえず一千万円。5年ごとに事業を見直して、新たなことに挑戦したいと考えています。

それぞれの農家でこれをやっていくのではなく、町ぐるみで考えなければ産地として確立しません。生産に専念していくためには、選果や販路の開拓など分業化を進めることが重要だと思います。

選果場が計画されることは、ありがたいと思っています。

町やJAに求めることは

自分たちでは出来ないのが販路の開拓で、しっかりした流通システムを確立してもらいたいです。

主要作物のトマト、メロン、パプリカ以外の作物で、前作後作の生産体系を確立し、それを統一的にやることで産地化ができるのではないかと思います。

生産方法も各々の考えでやっているのが現状ですが、指導体制の強化が必要だと思います。

高齢者の引退年齢を引き上げるため、地域おこし協力隊に手伝いに来てもらえば、高齢者がもう数年生産に従事できるようになるのではないでしょうか。協力隊に空いている日があれば、地域貢献してもらえればありがたいと思います。

今月の表紙写真

「あっ、そこ引っ張って!!」と、小さな子が黄色い大きな声を出して、作業をリードしていました。ここ小田地区でハウスメロンの栽培を営む農家は、時折吹き込む強い風の中、家族総出でビニールシート張りです。「効率的な農業を」と百家争鳴の農業論が唱えられていますが、農業も林業も、やはり人は必要なのです。少子高齢化と人口減少が進む中、実効性の高い定住対策が求められます。

編集後記

1月には1日の降雪としては数十年ぶりの大雪になりました。被害を受けられた皆様にお見舞い申し上げます。

さて、3月の定例議会において平成28年度当初予算77億円余、特別会計を合わせて１００億円余が可決し、新年度がスタートしました。

本町発展のため、また、町民の安心で安全な暮らしを守るため、多くの事業がもりこまれていますが、効果が表れるよう注視してまいります。

そして、待ち望んだ新庁舎での業務が、5月中旬から始まる予定です。皆様に親しまれる庁舎でなければなりません。

今年度も議会活動にしっかり汗を流してまいります。皆様のご意見をお寄せください。

議会広報編集委員会　難波　俊司

飯南町議会　島根県飯石郡飯南町下赤名890番地　飯南町議会事務局　TEL0854-76-2190　FAX0854-76-2867